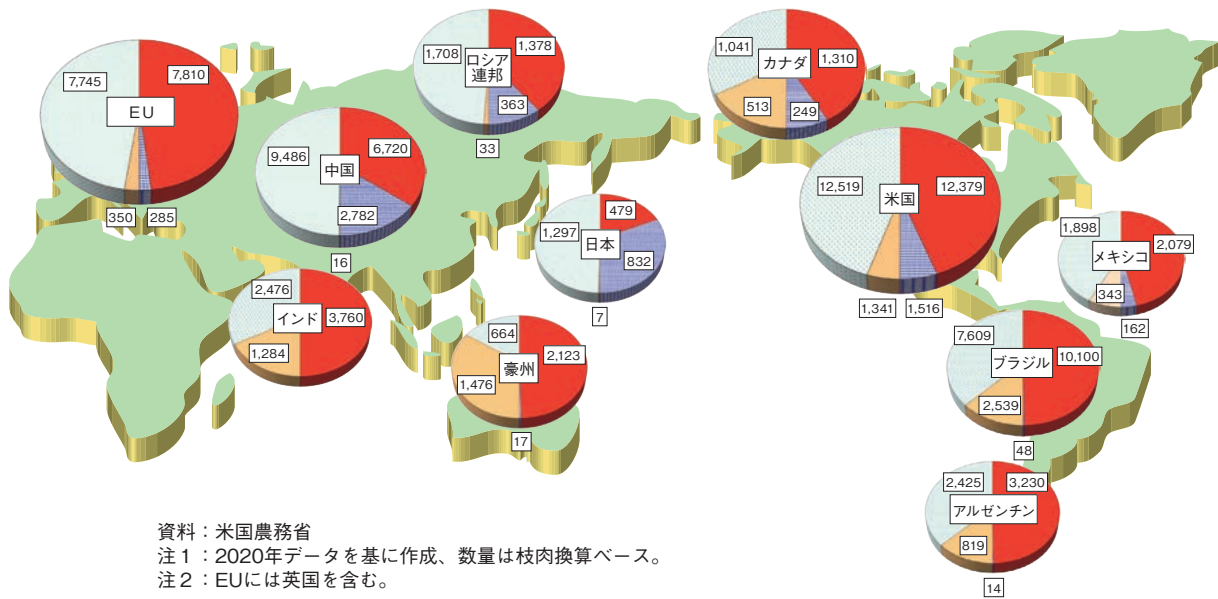


# 絵で見る世界の畜産物需給

## 牛肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)  
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



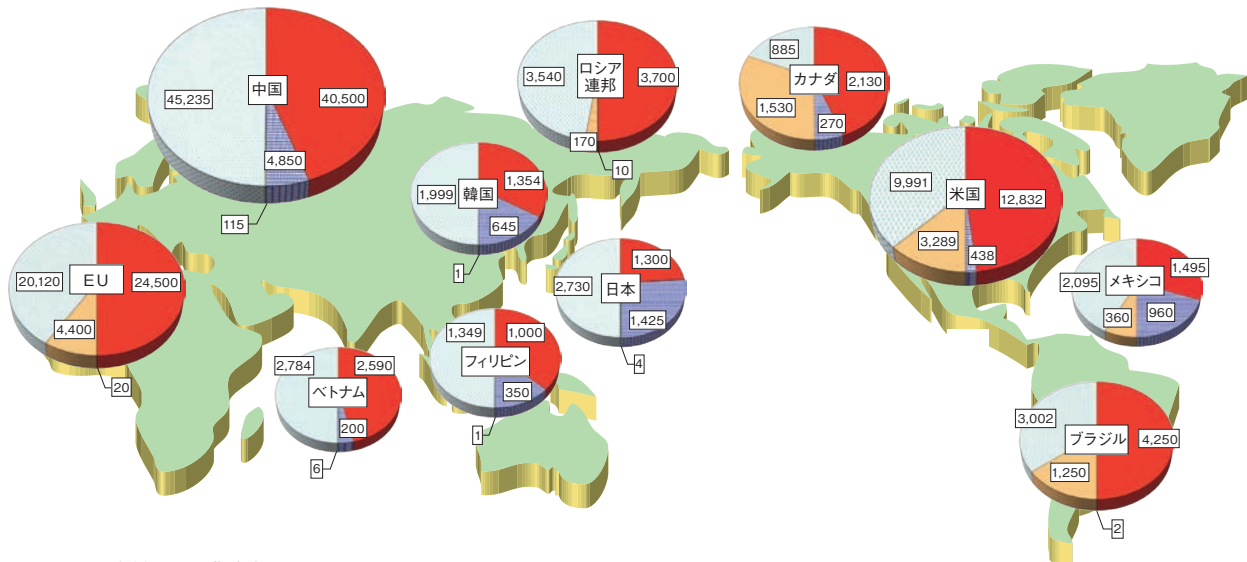
資料：米国農務省  
注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。  
注2：EUには英国を含む。

2020年の世界の牛肉生産量は、7160万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1238万トン）、EU（781万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（1010万トン）、中国（672万トン）、インド（376万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（323万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。一方、ブラジルやインドなど減少に転じたところも存在する。牛肉輸出量は、ブラジル（254万トン）、豪州（148万トン）、米国（134万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州、カナダ（513万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

## 豚肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)  
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



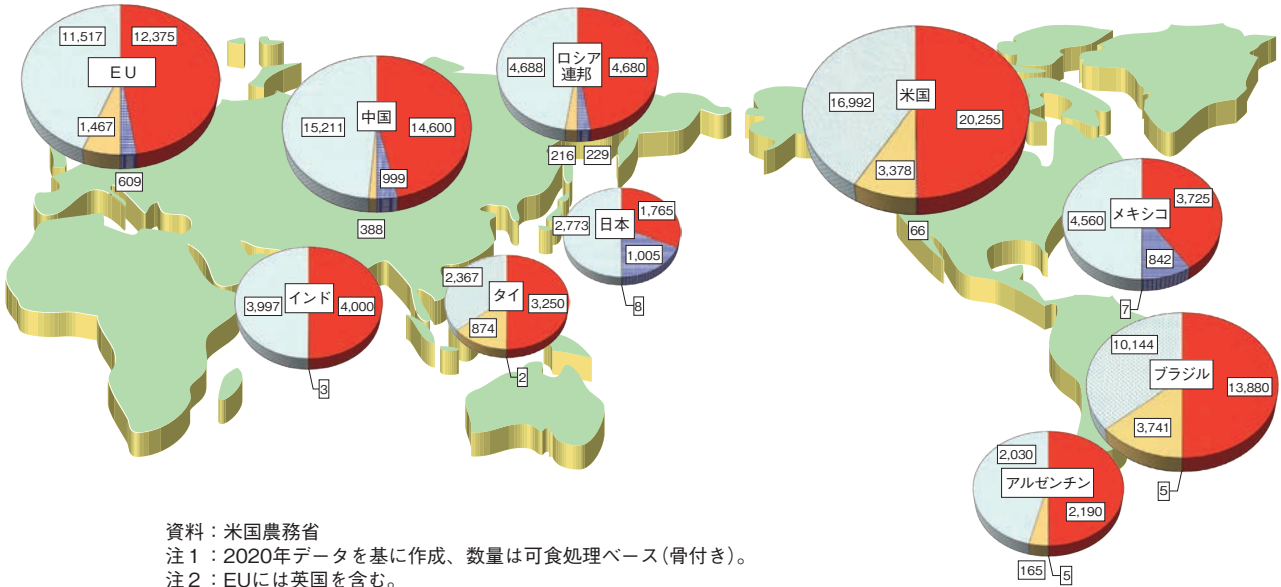
資料：米国農務省  
注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。  
注2：EUには英国を含む。

2020年の世界の豚肉生産量は、1億1144万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（4050万トン）であり、これにEU（2450万トン）や米国（1283万トン）などが続く。EUや米国は生産量に占める輸出量の割合が高く、中国を中心に輸出量を増加させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（425万トン）、ロシア（370万トン）、メキシコ（150万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、フィリピン、韓国などの生産量や消費量が多い。日本は生産量が130万トンであるが、消費量のおよそ半分の143万トンを入力しており、世界全体の輸入量の約2割を占めている。

# 鶏 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)  
 輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



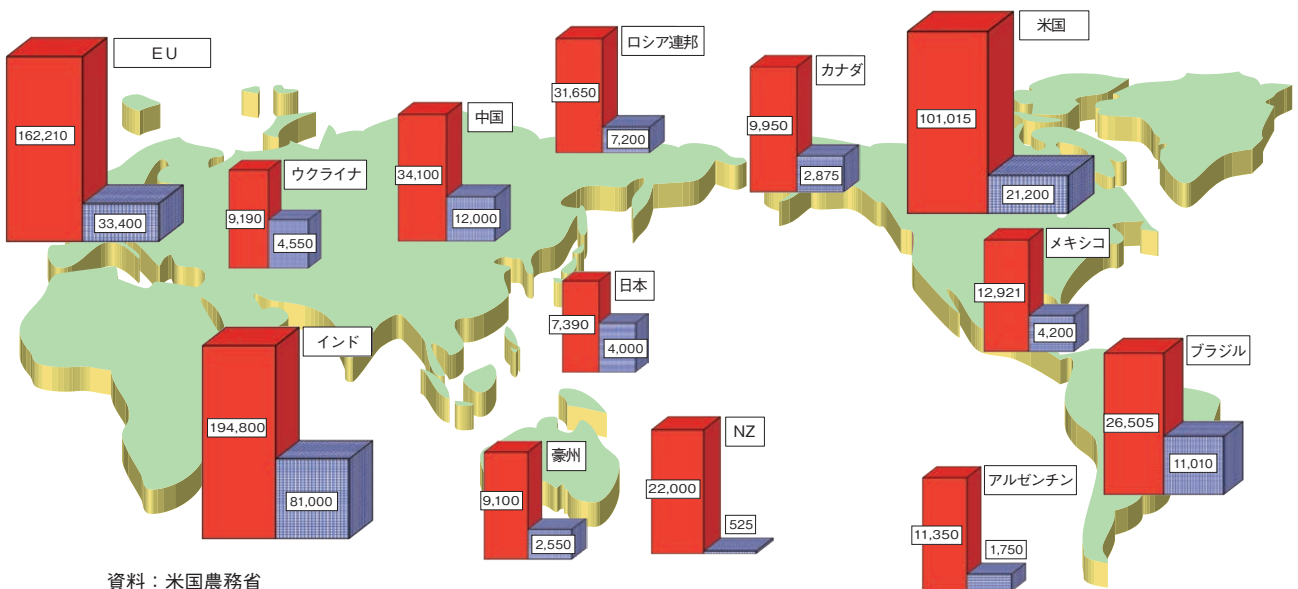
資料：米国農務省  
 注1：2020年データを基に作成、数量は可食処理ベース(骨付き)。  
 注2：EUには英国を含む。

2020年の世界の鶏肉生産量は、1億3342万トン（骨付き換算ベース、FAO Food Outlook、2021年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（2026万トン）であり、これに中国（1460万トン）、ブラジル（1388万トン）と続く。このほか、EU（1238万トン）、メキシコ（373万トン）、タイ（325万トン）などで増加している。鶏肉消費量は、米国が最大であり、中国（152万トン）、ブラジル（1014万トン）なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル（374万トン）、米国（338万トン）、EU（147万トン）、タイ（87万トン）の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約6割を占める。

# 生 乳



生乳生産量(千トン)  
 飲用乳消費量(千トン)



資料：米国農務省  
 注1：2020年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。  
 注2：EUには英国を含む。

2020年の世界の生乳生産量（水牛乳含む）は、9億621万トン（FAO Food Outlook、2021年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、インド（1億9480万トン）、EU（1億6221万トン）、米国（1億102万トン）などであるが、インドは水牛乳が生乳生産量の約5割を占める。地域別に見ると、最近では、インドや中国などの生乳生産量の増加が著しい。2020年の貿易量（輸出量・生乳換算）は8570万トンと見込まれ、その貿易率は9.5%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国（地域）は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。